

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

| | |
|--|---|
| 会 議 名 | 第2回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会 |
| 開 催 日 時 | 平成30年8月27日（月）午後7時 ～ 8時20分 |
| 開 催 場 所 | 中部地区会館405集会室 |
| 出 席 者 及 び 欠 席 者 | 出席者：安島てつや、峰岸喬、大槻千聡、建部直哉、南葉子、高橋幸子、 小島晴幸、諸橋泰樹、百瀬佑子、深松加絵 (事務局) 協働推進課長、協働推進課係長、協働推進課主事 (オブザーバー) 株式会社エス・アール・シー |
| 報 告 事 項 | 1 第1回会議録について 2 市民意識調査について |
| 議 題 | 1 事業所アンケートについて 2 その他 |
| 結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。) | 議題1 事業所アンケートについて 問1にダイバーシティ関連用語を追加する。 問7-2、問8-2の選択肢1を「上司が積極的に取得を働きかけていく」趣旨の選択肢に変更する。 問11と問16の①「どちらともいえない」を削除する。 その他の修正については、本委員会での指摘を踏まえて事務局が最終的に判断して調査票を決定し、調査を実施する。 議題2 その他 第4回会議は平成30年12月7日（金）午後7時から開催する予定。また、第3次計画の進捗状況についての資料をまとめた後に、市民委員会から意見をいただくこととする。 |
| 審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ◎印：委員長 ○印：副委員長 ●印：委員 □印：事務局 | 報告事項 1 第1回会議録について -事務局から説明- -質疑等なし- 2 市民意識調査について -事務局から説明- -質疑等なし- 議題1 事業所アンケートについて -事務局から説明- ◎ 問題点、改善点、疑問に思ったこと等を率直にご意見いただきたい。 ● このアンケートは、事業所の中の誰に聞くのか。 □ 会社名に御中を付けて送付する。あいさつ文で、事業主の方もしくは労務管理をされている方に回答をお願いするように示している。 ○ 問1は、回答者個人の言葉の認知を聞く設問なのか。例えば、問1で次世代育成支援対策推進法を知らないと回答しているにも関わらず、問2で策定していると回答があった場合、矛盾する。問1はなくても良いと思うが、いかがか。 □ 回答者である事業主の方もしくは労務管理をされている方個人は、当然、問1で挙げている言葉は知っていることを確認する意味であえて設定した。 ○ ロジカルチェックをして、問2で策定していて問1が知らない場合に |

は、問1を知っているに修正しても良い。

- このアンケートは、調査票を送付するだけなのか。例えば、ワーク・ライフ・バランスとは何かとか、ポジティブ・アクションとは何かとか、そういう補足があってアンケートをするのか。調査票だけを送付するとなると、色々な用語が出てくるので、わからないのに答えてしまうことになりかねない。
- そもそも企業として、こうしたことを認識しているのかを知りたいという意図がある。説明をつけて考えさせるというより、直球で出して企業が理解しているか否かがわかることを重視している。
- 問7は出産した従業員とあるが、男性の場合はどうか。
- カッコ書きで示しているが、男性の場合は配偶者が出産した場合に回答していただく。
- 「取組は行っていない」という選択肢に回答しているにも関わらず、矛盾した回答をされると困る。
- 集計する際に、ロジカルチェックを行う。
- 対象事業所の600事業所の業種別の割り当て数だが、これは国の業種割合を基準に按分して出した数値か。それとも全数調査か。
- 従業員数10人以上の事業所全てである。平成26年経済センサスのローデータを基に業種別でまとめると表2のようになる。
- どのくらいの回収率を想定しているのか。
- 3割～4割を想定している。
- WEB回答やFAX回答はできないのか。
- WEB回答やFAX回答については、調査スケジュールにも関係するので、可能な範囲で対応したい。
アンケートの内容については、聞きたいことは多くあるが、それを全て聞いてしまうと分量が多くなり回収率が下がってしまうので、いかに簡素化して聞くことができるかが重要だと考えている。
- とても良い項目だと思う。
- ◎ 回答者の立場として、いかがか。
- 問7-2の選択肢に「上司が積極的に育児休業を取得する」とあるが、上司は育休を取得する年齢でないひとが多いのではないか。問8-2の介護休業であれば十分に考えられる。その点を踏まえ、設問に対する選択肢が、一律すぎるように思う。「部下が取得しやすい環境を整えている」などの表現に変えるべきだ。
- 反映させたい。
- 問8-1は直近1年だが、問7-1は直近年度になっている。
- 東京都の調査に準じた聞き方にして、東京都の調査結果を比較できる形にしておきたい。
- このアンケートは、事業所の取組内容を聞くものだが、その取組が実際に機能しているのかどうかは聞かなくて良いのか。事業所の取組内容よりも、そこで働くひと（市民）がどう思っているのかを知ることの方が、重要なのではないか。
- 他自治体では、事業所向けのアンケートに、そこで働く従業員向けのアンケートを同封して回答してもらう形式をとっているところもある。今回の事業所アンケートでは、様々な制約があるため難しいが、今後の提言として捉えたい。市民意識調査では、職場における男女平等の実態及び勤務先を聞いているので、市内に勤務する人の回答の傾向は把握できる。
- ホームページから回答することはできないのか。気軽に回答できると良い。

- 次の調査では検討したい。
- ◎ 制度を設ける側と使う側、様々な視点から調査することは重要だと思う。
- 問 11 と問 16 の選択肢「どちらともいえない」に回答すると「(取組が)進んでいない」に促される。しかし、「進んでいない理由は何ですか」という問と整合が取れていない。
- 「どちらともいえない」を削除する。
- 問 11 と問 16 の前に現在の取組状況を聞く設問があっても良いかもしれない。
- 「どちらともいえない」というよりは、「特に何もしていない」という回答があるのではないか。本来は先に現状を聞いて、特に何もしていない回答者を除く。そうでなければ「どちらともいえない」という選択肢は、「特に何もしていない」という意味でつけるのかなと思う。
- 検討したい。細かい文言の整理等は、事務局に一任して良いか。
- 異議なし-
- ダイバーシティへの取り組みは入れなくても良いのか。
- 問 1 に関連用語を聞いてみてはどうか。
- 良いかもしれない。
- 問 7-2 の「妨げとなっている問題点」について、事業主に聞く場合、選択肢として回答できるのは「7 企業側の経済的負担が大きい」のみではないか。この選択肢は、従業員側の目線である。
- 回答者が担当者であって管理者ではない場合、その職場の管理者が悪いという意味で回答をする場合もあるのではないか。
- この調査が、企業にとって表面的に都合の良い回答が多くなることが想定される。
- ◎ 他に何かあるか。
- 次の 10 月の委員会では、市民意識調査と事業所アンケートの調査結果をお示しする。本日は、貴重なご意見をいただき、非常に感謝している。

議題 2 その他について

-事務局から説明-

- ◎ 次回開催日は 10 月 26 日である。12 月の第 4 回市民委員会では、会議後に懇親会を行い、ざっくばらんにお話しができればと思うが、いかがか。

-異議なし-

- ◎ 7 日(金)はどうか。

-異議なし-

- ◎ では、第 4 回は 12 月 7 日の午後 7 時から開催することとする。他にいかがか。

- 現在、第 3 次計画が進行中であり、毎年、同計画の事業内容がどの程度進んだのかを各担当課から取りまとめている。現在、集計中であり、終了した段階で、市民委員会からご意見をいただきたい。会議日程とのタイミングが合わないので、まとまった段階で近日中に進捗状況の書類を郵送するので、それに対してご意見をいただきたい。

- ◎ 他にいかがか。

-特になし-

- ◎ 本日は、これで終了する。

